

## 頑張ろう能登

宮澤憲一（10組）



今年は衝撃の元旦となった。まさか元旦から大地震に見舞われるとは思わなかった。

激甚災害にあったのは能登半島で、特に珠洲や輪島の被害は惨憺たるものである。亡くなった方々へのお悔みと、被害に遭った方々へお見舞いを申し上げます。

筆者は、大学4年間金沢で過ごし、能登への愛着も少なくはない。2年生の夏休みには、友人と徒歩でキャンプをしながら能登半島を一周した。北部は断崖の多い海岸線だったが、美しい景色を楽しんだ。

剣道部に所属していたので、毎年3月には春合宿があり、宿泊場所はいつも門前総持寺（輪島市）だった。総持寺は曹洞宗祖院で由緒ある寺。若い坊さんが修行に来ていた。

我々も朝は長距離走の後、トイレ掃除を手伝い、夜は座禅を組んで精神修養のまねごとをした。いずれも懐かしい思い出である。

その総持寺も今回の震災で大被害にあった。映像をテレビで見て、心が痛んだ。去年の地震で損傷し、修繕が終わったあとの災難である。

ボランティアに行くには残念ながら体力が無い。義援金で支援をさせていただいている。地元の知人にはお見舞い状を書き、励ましている。

東日本大震災も復興に長い時間がかかった。能登の復興もこれから苦難の道を歩むことになるだろう。あきらめず頑張っていたきたい。こちらもできることはやっていきたい。

地震国日本。いつどこで大地震が起きるか分からない。

各々日々の備えは怠りなく暮らしてください。

（2024年1月31日記）

以上